

### 3

## 暮らしのお金

## Money

アメリカでは現金をあまり持ち歩かず、カード、電子マネーや小切手をよく使います。まずメインバンクを決め、口座を開き、小切手帳とカードを入手しましょう。





# 銀行

## 銀行を選ぶ

### ●銀行を選ぶ時のポイント

- ・ 職場や学校、住まいの近くなど、便利な場所に支店があるか。
- ・ 営業時間：こちらの銀行は、業務時間で特色を出しているの、銀行によって開店時間と閉店時間が異なる。
- ・ FDIC に加盟しているか：FDIC とは銀行預金を保証する連邦政府の機関で、銀行が倒産した場合に、一つの口座について 10 万ドル以下の預金は全額補償してくれる。銀行の倒産から身を守るためには、ほかの銀行にも口座を開き分散して預金する方法もある。
- ・ 国際銀行業務部 (International Banking Department) を持っているか：日本からの送金、または日本への送金が多い場合は、この部門のある銀行の方が便利で手数料も安い。

☆ハーバードスクエアにある Bank of America では、日本語によるサービスを行なっている。

◇Bank of America (The Coop の隣り)

1414 Massachusetts Ave., Cambridge

☎1-800-841-4000

## 口座を選ぶ

口座開設には、大きく分けてチェックング・アカウント (Checking Accounts)、セービング・アカウント (Savings Accounts) と、その他の利殖を目的とした口座の三種類から選ぶことになる。口座名義を夫婦二人の連名口座 (Joint Account) にすることもでき、その方が何かと便利なのです。

### ●チェックング・アカウント (Personal Checking Accounts)

日本の当座預金に当たるもの。個人小切手 (Personal Check) を振り出すために必要な口座。銀行によって金額が異なるが、一定の預金残高が決まっている。この口座には基本的には金利が付かないが、銀行によって金利の付くものもあり、その場合、残高は高めに設定されている。

### ▼お金の種類と呼び方

アメリカのお金の単位は、ドル (dollar=\$) とセント (cent =¢) である。1ドルは100セント。硬貨は 1¢銅貨 (Penny)、ニッケル貨の 5¢ (Nickel)、10¢ (Dime)、25¢ (Quarter)、50¢ (Half Dollar)、\$1 銀貨 (Silver Dollar) の 6 種。カッコ内は愛称で、普通はこの愛称で呼ばれています。紙幣 (Bill) は 1、5、10、20、50、100 ドル札の 6 種類が主流です。ほかに 500、1,000、5,000、10,000 ドル札もありますが、まずお目にかかることはないでしょう。日常生活で使用される紙幣は、20 ドル札以下が多く、現金はたくさん持ち歩かず、小切手 (Check) かデビットカード (Debit Card)、クレジットカード (Credit Card) を使用します。

### ▼小切手の被害に注意

Checkbook を注文し、1 週間ほどできると言われたのに、なかなか届きません。小切手が使えないまま最初の月のステートメントが届いてびっくり。本人が使ってもいない小切手でだれかが多額の買い物をしたらしいのです。我が家は高層アパートで、集合メールボックスに入り切らない郵便物は、無造作に棚に置かれてしまい、「大丈夫かな？」と思っていた矢先のでき事でした。すぐに銀行に届けて調べてもらいましたが、どうもプロによる犯行で、犯人は免許証まで偽造して買いまくったようです。現金より安全と言われる小切手ですが、こんなことも起こるので注意してください。

## ▼よく使われる銀行用語 一覧

Savings Accounts  
普通預金  
Checking Accounts  
当座預金  
Certificate of Deposit  
定期預金  
Credit Card  
クレジットカード  
ATM Card / Debit Card  
銀行発行の  
キャッシュカード  
Personal Check  
個人小切手  
Statement  
定期報告書  
/口座取引明細書  
Password / Secret Number  
/ PIN Number  
暗証番号  
Deposit  
入金する(動詞)、預金(名詞)  
ATM  
現金自動引出機(預金も可)  
Fast Cash and Balance  
指定額即出金と残高照会  
Withdrawal  
/ Cash Advance  
現金引き出し  
/ カード借り入れ  
Balance / Transfer  
残高照会 / 別口座への移動  
Opening an Account  
口座を開設  
Handling Charge  
手数料  
Cable Charge  
電信手数料  
Foreign Currency Exchange  
外貨両替  
Currency Exchange Rate  
両替率(\$1が¥100などの交換  
率を言う)  
Overseas Money Transfer  
海外送金

## ●セービング・アカウント (Savings Accounts)

日本の普通預金に相当し、二種類ある。一つは日本と同様にいくらでも出・入金できるが、最低預金残高の定まっているもの、他の一つは最低預金残高はないが、金利は安く小切手の振り出しはできない。銀行によってはチェックングとセービングの預金が連動する口座を設けている。この場合、決められた金額を口座に保っておくと、チェックング・アカウントの残高に関係なく何枚でも小切手が使える。二つの口座間で預金が移動され、支払いに当てられるためで実用的である。

## ●その他の口座

マネーマーケット(Money Market)口座。これは、金融市場金利に連動して金利が毎週変わるものである。毎月平均残高が指定額を下回ると、サービス料がかかるか、金利が下がる。小切手が振り出せるものもあるが、回数や金額に制限がある。ほかに日本の定期預金にあたるCertificate of Depositがあり、これは金利が毎日変更され、有利な大口定期預金である。

以上のように、それぞれの銀行や口座によって違いがあるので、よく検討して最も適したものを選ぶとよい。

## ●口座開設にあたって必要なもの

### ◎身分証明書

州発行のID(運転免許証など顔写真のあるもの)。日系の銀行とBank of America の場合は、パスポートとビザの種類がはっきりしていれば比較的簡単に開ける。他の銀行では、IDとして日本のパスポートは通用しない。学生専用口座の場合は、I-20と学生ビザが必要。

### ◎ソーシャル・セキュリティ・ナンバー(SSN)

提示が求められる場合もある。SSN無しで口座を開く場合は、金利から日本への税金が引かれるものもある。

### ◎クレジットカード

メジャークレジットカードの提示を要求される場合もある。日本で取得したクレジットカードもあれば提示するとよい。

上記のものを用意して、銀行の受付でその旨を伝え担当者を紹介してもらう。口座を開く時の預け入れ金額は、銀行、または口座によって違うので、必ず事前に確認することをすすめる。チェックング・アカウントを開くと、チェックブック(小切手帳)を購入することになる。この時、夫婦で口座を使う場合は、二人の名前をチェックに併記することをすすめる。チェックブックは後日送られてくる。

## キャッシュカード (Cash Card)

口座を開くとカードの申込用紙をくれるので、夫婦連名の場合は二枚申し込む。PIN ナンバー (Personal Identification Number: 暗証番号) を選び書き込む。カードはあとで郵送されてくる。郵送されてきたカードを Activate する時に PIN を入力する方法もある。

使用方法は、日本とほぼ同じ。出入り口のあるところでは、カードを差し込んでロックを解除して中に入る。カードを ATM に入れ、暗証番号を入力し、確認のキー (Enter / Correct など) を押す。引き出す場合は、'Withdrawal' または、'Get cash' を押す。口座の種類 (Checking や Savings など) を選び、現金が出たらその場で金額を確認する。銀行によっては、引き出す際に手数料がかかることもある。また引き出し限度額は、その銀行の規定による。カードを失ったらすぐに銀行に届ける。

## デビットカード (Debit Card)

キャッシュカードで併用されるが、スーパーなど多くのお店では、このカードをカードリーダーに入れ、PIN ナンバー (キャッシュカードと同じもの) を入力すると、現金同様に買い物をすることができる。同時にキャッシュバックも可能。クレジットカードとは異なり、数日中に口座から引き落とされる。

## クレジットカード (Credit Card)

メジャーなクレジットカードは American Express、Visa、Master など。詳しくは P35 を参照。

## 小切手 (Personal Check)

日本では日常馴染みがないが、アメリカではチェックを使用することが非常に多い。個人の名前で切る小切手で、支払先・金額・自分のサインをすれば現金と同じ扱いになる。公共料金はもちろん、ショッピングにも使用される。特に郵送する支払いは、必ず小切手にする。盗難を避けるためと支払済の証拠にもなる。チェックは、店によって金額制限をする所もあるが、現金を持ち歩かなくてもよいので便利。チェックを切ったあと、控えがないと収支残高が分からなくなるので、必ずチェックブックにチェック番号、月日、支払い先、収支額、残金を記入するようにする。

### ▼暗証番号に注意!

キャッシュカードをなくした直後に、電話があり、銀行の者だと言われたので暗証番号を教えました。その後預金が引き出されていたのです。あとで聞くと銀行が番号を聞き出すことは、滅多にないので容易に教えないようにと、厳重に注意されました。

### ▼小切手の種類

- 銀行小切手 (Official Check or Bank Check)  
銀行保証の小切手のこと。アパートの契約時のセキュリティ・ディPOSITや多額の金額を支払う場合に、パーソナルチェックの代わりになります。普通預金口座があれば、必要な時に依頼すると発行してもらえます。そのつど、手数料がいります。
- 支払い保証小切手 (Certified Check)  
パーソナルチェックでの支払いが可能であることを、銀行が保証した小切手。窓口で簡単にできますが、手数料がいります。
- 郵便為替 (Money Order)  
銀行に口座を持たない場合のパーソナルチェックに代わるもの。パーソナルチェックよりも信用度が高い。多額のスピード違反金も Money Order での支払いを要求されます。作ってもらう時には手数料がいります。換金する場合は、身分を証明する ID が二種類必要です。

### ▼小切手を無効にする方法

クレジットカード会社へ小切手を送った後で、封筒を閉じなかったことに気づきました。もし小切手が出てしまったら、悪用される恐れがありますし、カード会社との手続きも煩雑になってしまいます。まず銀行 (Customer Service) に電話し、該当の小切手ナンバーを伝え、それを無効にしてもらいました。この時手数料\$30 がかかりましたが、何百ドルも無駄にするよりはましです。次にクレジットカード会社に連絡して事情を説明し、改めて小切手を送りました。(小切手を無効にする手数料は銀行や口座によって異なります。)

### ●小切手の書き方

記入する時には間違いやトラブルがおきないように、以下のことに気をつける。

- いつでも同じサインをする:最初に銀行に登録したサインを守る。短くなったり、変形したり、全く違う書体にならないよう気をつける。
- チェックの日付を間違えない:チェックを書く時の日付にする場合と、支払いたい日付にする場合(先付)とがある。年が改まった場合は、前年の年号を書かないよう注意する。チェックは、日付から6ヶ月で無効になる。
- 金額は正確に書く:チェックの記載金額を間違わないように。算用数字と英文字数字の金額が違う時は、基本的には英文字数字の金額が優先されるが、オペレーターは、算用数字しか見ないので注意すること。
- 左端から書く。
- セント(¢)は百分率で、余白には一を入れる。

TARO YAMADA HANAKO YAMADA 000 Beacon St., Boston, MA 02114	No. 001
Pay to the order of <u>NSTAR</u>	Date <u>Nov 8, 2003</u>
<u>Fifty and 25/100</u> Dollars	\$ <u>50,25</u>
Bank, Boston	Memo <u>Gas 10/1-10/31 '03</u>
000000000 : 00000 00000 0000	<u>Taro Yamada</u>

### ●小切手を紛失した場合

振り出したチェックが紛失したり、盗まれたりした場合は、すぐ銀行に連絡してチェックの支払い停止を依頼する。支払い停止には各銀行所定の手数料がかかる。

### ●小切手の在庫が乏しくなってきた場合

追加発行には一週間以上かかることもあるので、早めに注文するとよい。

## クレジットカード

アメリカでは現金をあまり持ち歩かず、ほとんどがチェックやデビットカード、クレジットカード、電子マネーで済ますことができる。特にクレジットカードは使える範囲が広いと、とても便利である。またホテルを予約する時やレンタカーの申し込み、チケットの予約などは、クレジットカードを持っていないと受付けてくれないところもある。メジャーなクレジットカードは身分証明の役割も果たす。これらのクレジットカードを取得するには、定収入があり、アメリカで数年の銀行取引実績がないと難しいとされる。日本でメジャーなクレジットカードを取得しておけば、こちらでカード申請する場合有利となる。日本で使用していたクレジットカードの月次利用代金明細書(過去3~4ヶ月分)を持参し取引実績証明として交渉する方法や、滞在2年目からカードを申請する方法もある。

カードを取得する前にカード会社より「何日以内に届く」という連絡があることもあり、その日数以内に届かない場合は、途中で紛失して使用される可能性があるため、カード会社に連絡する。また、カードが送られて来たら、すぐ番号と無くした時の連絡先を控え、盗難にあたり無くしたと思ったら、直ちにカード会社に連絡する。また、カードが届いたら受け取ったことをカード会社に連絡する。

クレジットカードとは別に、デパートや各種の商店が発行するストアカードがあり、これはその店でのみ使用できるカードである。申し込みは直接店に問い合わせる。申し込みの際、その日の買物の10%~15%割引、または\$10割引などという特典を設けている店が多い。

### クレジットカードで支払う時の注意点

店によっては使用できる最低金額が決まっているので気をつけること。カードで支払ったあと、金額をよくチェックしてからサインをし、その控えを受け取る。レストランの支払いでチップもカードで支払う場合は、金額を確認して、請求書にチップ額と合計額を書き入れてからサインする。チップの金額を書き忘れると、レストランに金額を任せることになり、高いチップを払わされることになりかねないので注意する。チップだけ現金で払う場合は、金額をテーブルに置いておく。

支払いは毎月送られてくる明細に対し、小切手を送るかネット上で行なう。毎月最低支払い金額が決まっており、支払いが遅れると罰金が科される。

### 電子マネー (Digital Currency)

決済を電子化したもの。ネットワーク型とプリペイド型がある。  
PayPal, Apple Pay, Google Wallet, Venmo など。

#### ▼財布を落とした!

財布を落としたのに気づいたのは5分位してから。すぐに引き返しましたが、現場には無く、店にも届けはありませんでした。慌てて帰り加入しているカードの盗難保険会社に電話し、クレジットカード、キャッシュカードなどを使えなくする処置をしました。現金の被害は\$10位しか入っていなかったのが最小限でしたが、翌々日から出張する主人のクレジットカードも(Account Numberが同じ)使えなくなってしまいました。1時間程してからでしょうか、銀行から「財布を拾った人から問い合わせがあった」という連絡。親切な人に拾われたものです。「よかった!お礼はどうしたらいいのかしら?」と考えたのは、いかにも日本人的な反応。知り合いのアメリカ人に聞くと「アメリカ人はお礼の物品は期待していない。ただ感謝の言葉を書いて、あとで 'Thank you card' を送れば充分。ただし、一人で受け取りに行っただけはいけない。どんな人か分からないのだから、必ずご主人と行くように。」と言われました。拾ってくれたのは隣の若い男性で、「雪解けの水溜まりに落ちていて、ぐしょぐしょになっていましたよ。」と笑って返してくれました。新しいカードが来るまで、不自由さを痛いほど味わいました。

#### ▼電子マネーウェブサイト

www.paypal.com  
www.apple.com/apple-pay  
www.wallet.google.com  
www.venmo.com

---

# 税金

どこに行っても頭を悩まされるのは税金である。居住者はもちろん非居住者でも、アメリカで収入がある場合は、必ず税金を払わねばならない(Tax Treaty に該当するビザ保有者はその限りではない)。米国税局 IRS (Internal Revenue Service) は厳しい。アメリカに 1 年のうち 183 日以上滞在する者、就労ビザ、永住権、市民権を持つ者は申告する義務がある。非居住者でもビジネス以外に得た所得、預金利息、配当金、賃貸料、不動産売却金等は、課税対象となる。税金には様々な種類があるが、主に連邦所得税 (Federal Income Tax) と、州・市民税 (State or Local Tax) について述べる。

## 連邦所得税 (Federal Income Tax)

アメリカでは、給与所得だけのサラリーマンでも、年に 1 回確定申告をしなければならない。会社または大学などから給与明細書 (Form W-2) をもらったら、必ず確定申告書を提出する。また自家営業や自由業に携わっている人は、税務監査を受ける可能性が高いので、収入の記録や領収書を必ず取っておく。アメリカにある銀行預金の利息も課税対象となるので、銀行から送られてくる利息通知票 (Form 1099) に基づいて報告しなければならない。また、自動車や家具、家など私有物を売った際に、購入した金額より高く売った場合は、その差額に対して課税される。

## 州・市民税 (State or Local Tax)

住民として住んでいる地域や州に収める税金のことで、アパートや家を借りている人は家賃に含まれている。家を買った場合は、市の税務署に固定資産税 (Property Tax / Real Estate Tax) を納めることになる。これらの税の中には、子供が有る無しにかかわらず、住民の義務として教育税 (Educational Tax) が含まれている。